



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日

上場会社名 株式会社ダイセル
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 札幌 操
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|--------|------|--------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第3四半期 | 356,936 | 3.2 | 44,795 | △2.9 | 47,937 | △2.4 | 33,075 | 16.1 |
| 2018年3月期第3四半期 | 345,703 | 7.1 | 46,144 | △4.1 | 49,095 | △0.8 | 28,481 | △11.8 |

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 31,191百万円 (△29.6%) 2018年3月期第3四半期 44,298百万円 (5.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第3四半期 | 98.29 | — |
| 2018年3月期第3四半期 | 82.49 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第3四半期 | 634,722 | 418,463 | 61.4 | 1,178.65 |
| 2018年3月期 | 640,284 | 413,541 | 60.1 | 1,136.32 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 390,014百万円 2018年3月期 384,876百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 16.00 | — | 16.00 | 32.00 |
| 2019年3月期 | — | 16.00 | — | — | — |
| 2019年3月期(予想) | — | — | — | 16.00 | 32.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 479,000 | 3.5 | 54,000 | △8.4 | 58,000 | △5.1 | 40,000 | 7.9 | 120.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|---------------|------------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期3Q | 349,942,682 株 | 2018年3月期 | 349,942,682 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期3Q | 19,044,579 株 | 2018年3月期 | 11,239,478 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年3月期3Q | 336,507,943 株 | 2018年3月期3Q | 345,269,158 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心に緩やかな景気の回復が続くとともに、日本経済においても、景気の緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の深刻化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高3,569億36百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益447億95百万円（同2.9%減）、経常利益479億37百万円（同2.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益330億75百万円（同16.1%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途の販売数量が微減となったことや、たばこフィルター用途の販売数量が減少したことにより、売上高は減少いたしました。

たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓に取り組み、販売数量は前年並みとなったものの、市況軟化の影響により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、644億70百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は、原燃料価格の上昇や市況軟化の影響などにより、129億33百万円（同17.5%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、堅調な需要や市況上昇の影響などにより、売上高は増加いたしました。

合成品は、販売数量の増加や市況上昇の影響などにより、売上高は増加いたしました。

機能品は、前年度の過酢酸製造プラントでの火災事故による影響からの回復に加え、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定や、コスメ・ヘルスケア分野の需要が好調に推移したことなどにより、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、カラムや充填剤の販売が増加したことや、インドでの新規事業が伸びたことなどにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、683億80百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は、販売数量の増加や原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定の影響などにより、114億55百万円（同105.2%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、スマートフォン販売低調の影響を受けたものの、自動車部品の需要増加や新規採用が進んだことによる販売数量の増加、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、販売数量は減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主にフィルムの販売が増加し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、1,352億57百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は、販売数量は増加したものの、原燃料価格上昇の影響などにより、169億60百万円（同3.7%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などの自動車安全部品事業は、インフレータの販売数量は増加したものの、販売品種構成の変化などにより、売上高は減少しました。

防衛関連製品などの特機事業は、販売数量の減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、831億83百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は、販売品種構成の変化などにより、146億97百万円（同15.2%減）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業の売上高は、増加いたしました。

運輸倉庫業などその他の事業の売上高は、増加いたしました。

当部門の売上高は、56億44百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益は、3億68百万円（同9.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、たな卸資産や有形固定資産等の増加がありましたが、現金及び預金や投資有価証券等の減少により、前連結会計年度末に比し55億62百万円減少し、6,347億22百万円となりました。

負債は、主に社債等の減少により、前連結会計年度末に比し104億84百万円減少し、2,162億58百万円となりました。

また純資産は、4,184億63百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,900億14百万円となり自己資本比率は61.4%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 125,358 | 103,291 |
| 受取手形及び売掛金 | 93,256 | 95,040 |
| 有価証券 | 3,929 | 2,129 |
| たな卸資産 | 109,295 | 122,746 |
| その他 | 17,418 | 18,178 |
| 貸倒引当金 | △44 | △107 |
| 流動資産合計 | 349,214 | 341,279 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 58,320 | 60,741 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 79,607 | 76,548 |
| 土地 | 26,754 | 26,925 |
| 建設仮勘定 | 14,053 | 24,812 |
| その他(純額) | 5,305 | 5,592 |
| 有形固定資産合計 | 184,041 | 194,621 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,894 | 3,695 |
| その他 | 6,694 | 7,095 |
| 無形固定資産合計 | 8,589 | 10,790 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 76,390 | 66,300 |
| その他 | 22,225 | 21,898 |
| 貸倒引当金 | △174 | △167 |
| 投資その他の資産合計 | 98,440 | 88,031 |
| 固定資産合計 | 291,070 | 293,443 |
| 資産合計 | 640,284 | 634,722 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 56,213 | 55,093 |
| 短期借入金 | 10,117 | 7,815 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,733 | 3,534 |
| 未払法人税等 | 4,271 | 3,218 |
| 修繕引当金 | 37 | 2,094 |
| その他 | 33,806 | 34,368 |
| 流動負債合計 | 118,181 | 116,125 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 50,000 | 40,000 |
| 長期借入金 | 25,884 | 30,134 |
| 役員退職慰労引当金 | 39 | 51 |
| 修繕引当金 | 869 | 9 |
| 環境対策引当金 | 4,000 | 4,295 |
| 退職給付に係る負債 | 12,279 | 13,298 |
| 資産除去債務 | 1,238 | 1,217 |
| 繰延税金負債 | 11,069 | 9,916 |
| その他 | 3,180 | 1,211 |
| 固定負債合計 | 108,561 | 100,133 |
| 負債合計 | 226,742 | 216,258 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 36,275 | 36,275 |
| 資本剰余金 | 31,642 | 31,692 |
| 利益剰余金 | 292,104 | 314,389 |
| 自己株式 | △14,004 | △23,813 |
| 株主資本合計 | 346,017 | 358,543 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,410 | 27,011 |
| 繰延ヘッジ損益 | 58 | 48 |
| 為替換算調整勘定 | 4,805 | 3,714 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 583 | 695 |
| その他の包括利益累計額合計 | 38,858 | 31,470 |
| 非支配株主持分 | 28,665 | 28,449 |
| 純資産合計 | 413,541 | 418,463 |
| 負債純資産合計 | 640,284 | 634,722 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 345,703 | 356,936 |
| 売上原価 | 241,911 | 251,505 |
| 売上総利益 | 103,791 | 105,430 |
| 販売費及び一般管理費 | 57,646 | 60,634 |
| 営業利益 | 46,144 | 44,795 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 186 | 256 |
| 受取配当金 | 1,368 | 1,737 |
| 持分法による投資利益 | 1,058 | 1,274 |
| 為替差益 | 290 | 231 |
| その他 | 1,454 | 1,484 |
| 営業外収益合計 | 4,358 | 4,984 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 895 | 907 |
| 環境対策引当金繰入額 | — | 298 |
| その他 | 511 | 637 |
| 営業外費用合計 | 1,407 | 1,842 |
| 経常利益 | 49,095 | 47,937 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産処分益 | 15 | 10 |
| 投資有価証券売却益 | 2,037 | 2,991 |
| 関係会社出資金売却益 | — | 290 |
| 受取保険金 | 715 | 1,028 |
| 特別利益合計 | 2,767 | 4,321 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 941 | 1,096 |
| クレーム補償費用 | 85 | — |
| 災害による損失 | 677 | 692 |
| 環境対策引当金繰入額 | 4,000 | — |
| 特別損失合計 | 5,704 | 1,789 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 46,158 | 50,469 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,545 | 10,858 |
| 法人税等調整額 | 1,565 | 920 |
| 法人税等合計 | 12,111 | 11,779 |
| 四半期純利益 | 34,047 | 38,689 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 5,565 | 5,614 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 28,481 | 33,075 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 34,047 | 38,689 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,075 | △6,467 |
| 繰延ヘッジ損益 | 42 | △19 |
| 為替換算調整勘定 | 4,301 | △870 |
| 退職給付に係る調整額 | 436 | 160 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 395 | △300 |
| その他の包括利益合計 | 10,251 | △7,498 |
| 四半期包括利益 | 44,298 | 31,191 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 37,998 | 25,687 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 6,300 | 5,504 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|-------------|------------|------------|-----------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | セルロー ス事業 | 有機合成 事業 | 合成樹脂 事業 | 火工品事 業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 67,874 | 59,584 | 127,154 | 86,493 | 341,106 | 4,596 | 345,703 | — | 345,703 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,468 | 11,904 | 7 | — | 13,379 | 7,890 | 21,270 | △21,270 | — |
| 計 | 69,342 | 71,488 | 127,161 | 86,493 | 354,486 | 12,487 | 366,973 | △21,270 | 345,703 |
| セグメント利益 | 15,677 | 5,583 | 17,616 | 17,326 | 56,203 | 407 | 56,610 | △10,466 | 46,144 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△10,466百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|-------------|------------|------------|-----------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | セルロー ス事業 | 有機合成 事業 | 合成樹脂 事業 | 火工品事 業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 64,470 | 68,380 | 135,257 | 83,183 | 351,292 | 5,644 | 356,936 | — | 356,936 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,050 | 16,077 | 14 | — | 18,142 | 8,299 | 26,442 | △26,442 | — |
| 計 | 66,520 | 84,458 | 135,272 | 83,183 | 369,435 | 13,943 | 383,378 | △26,442 | 356,936 |
| セグメント利益 | 12,933 | 11,455 | 16,960 | 14,697 | 56,047 | 368 | 56,416 | △11,620 | 44,795 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△11,620百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。